

よくある質問

Q. 長期に休む時は…

A. 雨のあたらない風通しのよいところに保管。微生物は休眠します。再開する時は、生ごみの入れ始めと同じようにします。
*中面のスタートから始めましょう！

Q. 基材がゴロゴロしてきた…

A. シャベルでゴロゴロのかたまりを突きほぐし基材全体を混ぜます。大きなビニール袋に基材を移して、全体をよく混ぜ合わせて箱にもどすと使いやすくなります。また、カサカサした野菜くずがふえてきたら、真ん中に集め、生ごみ投入時に混ぜ込みましょう。

Q. 温度が上がらない…

A. 廃油、米ヌカなどを入れて発酵を促進させましょう。高カロリーな生ごみ（天ぷらかす、脂身、たんぱく質、甘いもの）を入れると温度が上がります。

Q. 虫が出てしまった…

A. 基材をビニール袋に入れて水分を加え、2～3日炎天下にさらします。温度が上がることによって虫は死んでしまいます。

Q. 堆肥は必要ないけど…

A. 連絡いただければ、あしたや共働企画が回収し、花壇や畑に有効に使います。

★ダンボールコンポスト『ダンボちゃん』販売しています★

生ごみの分解力、消臭効果にこだわった「多摩市オリジナルブレンドの基材」は、生ごみリサイクルサポーターと市民モニターの実践研究によるものです。すぐに始められるセットが購入できます。

- ・オリジナルブレンドの基材は、牛糞堆肥、もみ殻くん炭、竹チップ、土壌改良材でできています。
- ・多摩市民の方は、申請により半額の補助が受けられます。
- ・セットのばら売りもできます。（）内は、ばら売り価格

セット内容		定価（税込）	補助金額	購入者価格
・基材 (1,000円)	温度計あり	2,600円	1,300円	1,300円
・ダンボール箱 ・プラスチックボード (1,000円)				
・虫よけ布カバー (300円)	温度計なし	2,200円	1,100円	1,100円

《購入先》

NPO 法人あしたや共働企画 多摩市諏訪 5-6-3-101（諏訪名店街）Tel.042-372-3690
〔営業時間：10:00～17:00 定休日：日曜・祝日・第3木曜〕

《ダンボールコンポストのご相談は…》

多摩市環境部ごみ対策課

多摩市諏訪 6-3-2 多摩市立資源化センター（エコプラザ多摩）Tel. 042-338-6836

『ダンボくらぶ(市民グループ)』
ダンボちゃんの普及啓発、困った時のアドバイス
danboclub@gmail.com



ベランダや
キッチンで
生ごみリサイクル



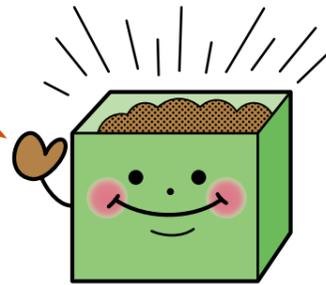
ダンボールコンポスト 手順書



『生ごみ堆肥』で作った
お花&お野菜

- ・ダンボくらぶ
- ・NPO法人あしたや共働企画
- ・多摩市環境部ごみ対策課

ダンボールコンポストをはじめよう!



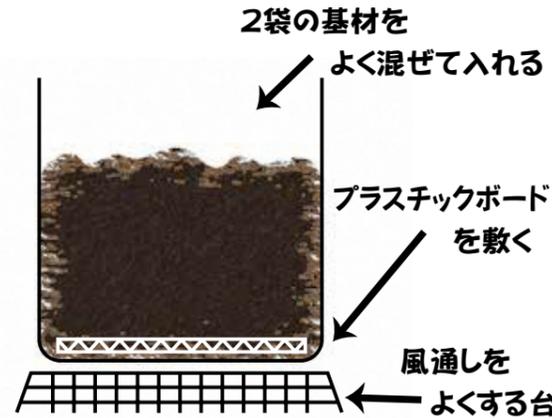
◆用意するもの

- ・ 基材
- ・ ダンボール箱
- ・ プラスチックボード
- ・ 虫よけ布カバー
- ・ 園芸用シャベル (先のとがったものが使いやすい)
- ・ 温度計 (分解具合の目安として、あると便利)
- ・ 風通しをよくする台 (苗ポットカゴなど)

◆設置場所

- ・ ベランダや軒下などで雨のかからない場所
- ・ 通気性を保つためビニールでは覆わない (雨よけに一時的なら OK!)

基材の微生物が生ごみを分解していきます。
微生物が元気に活動できるよう気をつける事がポイント!
楽しみながらそれぞれのペースでやってみましょう!



※堆肥が必要な時期に合わせて、堆肥を作りましょう



堆肥にするには…。

熟成

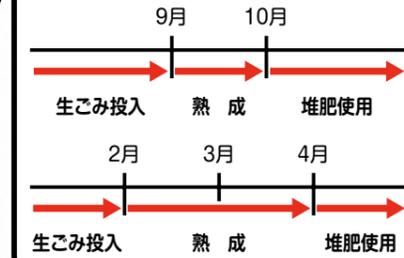
生ごみ投入をやめ、
1週間後に
1ℓの水を入れて
よくかき混ぜて
保存



熟成期間

暑い時期は、約1ヵ月
寒い時期は、約2ヵ月

(例)堆肥が必要な時期に
合わせて熟成しましょう!



《生ごみ堆肥の使い方》



*生ごみ堆肥：土 = 1：5
*残ったら保存して
追肥としても使えます

《ダンボール箱を 続けて使う場合》

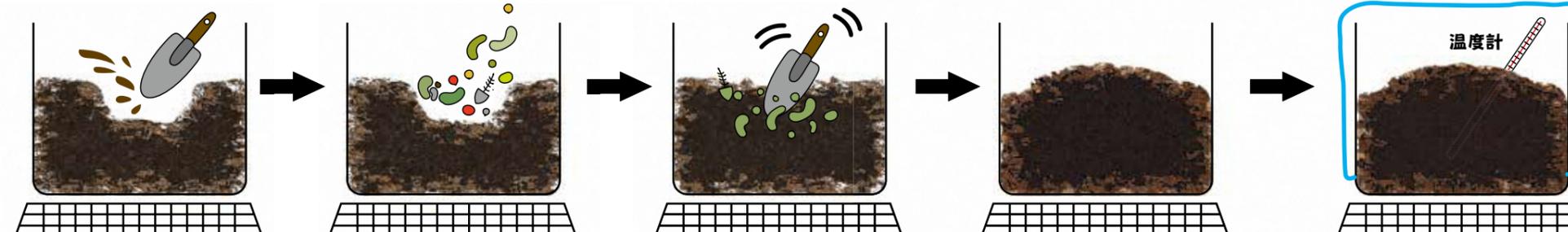
生ごみ投入をやめたら、基材
を別の袋に移して熟成させ
る。新しい基材をダンボール
箱に入れて再スタート!

生ごみ堆肥を使って… 古い土を再生!

プランターや植木鉢からシートなどにあけて、
古い根や茎・石などをふるいで取り除きます。
生ごみ堆肥：古い土 = 1：5の割合でよく混ぜます。

スタート!

- 1 まん中を少し掘る
- 2 生ごみを入れる
- 3 基材と混ぜる
- 4 まわりの基材をかぶせる
- 5 虫が入らないように布カバーをしっかりとかぶせる



1～5を繰り返す

「まん中埋め」を続けて
水分が多めになってきたら、
箱のふち(四隅部分)の乾いた
基材を混ぜて水分を調整する

コツは

『まん中埋め』を繰り返すこと。
まん中部分は生ごみの水分でしっとり。
ダンボール箱には生ごみが触れないので
箱が傷みにくくなります。

●生ごみは…。

水切り不要

- ・ 野菜くずや食べ残しなど細かくすると分解しやすい。
- ・ 貝殻は入れない。
- ・ 入れる量は1日1kgまで。
- ・ 入れない日があってもOK。
- ・ コーヒーかす、みかんの皮、くん炭などを入れると消臭効果があります。

●水分は…。

最初の数日～1週間は、乾いた基材に生ごみを入れていくのでパサパサしていますが大丈夫!
生ごみの水分で基材の真ん中はしっとりしてきます。

※基材を握ってみて手を開くと指の形がついてパラパラとくずれる程度がよい!
指の形がしっかりつくのは水分が多い場合です。
まわりの乾いた基材を混ぜて調整しましょう。

●温度の変化も見てみましょう

生ごみを入れはじめて数日～1週間くらいで温度が上がってきます↑↑
50℃～60℃になることもありますよ。
※気温より5℃くらい高ければ大丈夫!
分解している証拠です。

数ヶ月続けて、
そろそろ堆肥に
したい方は…

